



上總の夷隅郡金谷村御嶽明神の

冥繪のららとて衆詣群集せり此

別當へ子を授けら呪法ゆつて

祈念を頼む事風説高く

爰に房ぬ布良村の漁師

夫婦長き子なれを愁て

夫の伊勢泰宮留ま中女房

御嶽小行子を頼む別當

容態を見て昔計り筆取りて

祈念をれ共繪ゆんといかに任せ

黍菟の目敷満て帰る夫も帰宅し

互ふ此事を飲し夫の思様月水の苗を

月日の合はらふ疑生し或る女房を糺閑るに初は何も

岩帯のつらむらむに縛り松葉を薫し痛く責むに苦

痛絶るの実に別當より我ハ明神の衣代ありと

新聞圖會

第六号

六号



○真々お
つらむらむに
其呪を受より
せり免し給られと白狀せしむ

小徳の
冥繪

八尾善
彫平三

事頭を是迄
都合十四人此呪を
受しと世説高く
既不官の取糺
小付しを

花源
記